

県内大学卒業者の就業の現状と意識に関する調査結果概要

1. はじめに

本調査は、大学新規卒業者の地元就職率向上を図る取り組みを探るため、実行委員会に参加している COC+大学等に協力をいただき、宮城県内の大学卒業者の就業の現状と意識についてアンケートを実施した。

2. 調査方法の概要

県内大学の協力の下、卒業生約 12 万人へ WEB 調査の案内を送付した。2015 年 12 月末から 2016 年 5 月下旬までに、2,702 件の回答を得た。また、調査設計及び解析に東北大学高度教養教育・学生支援機構キャリア開発室の高橋修准教授に専門家として参画いただいた。

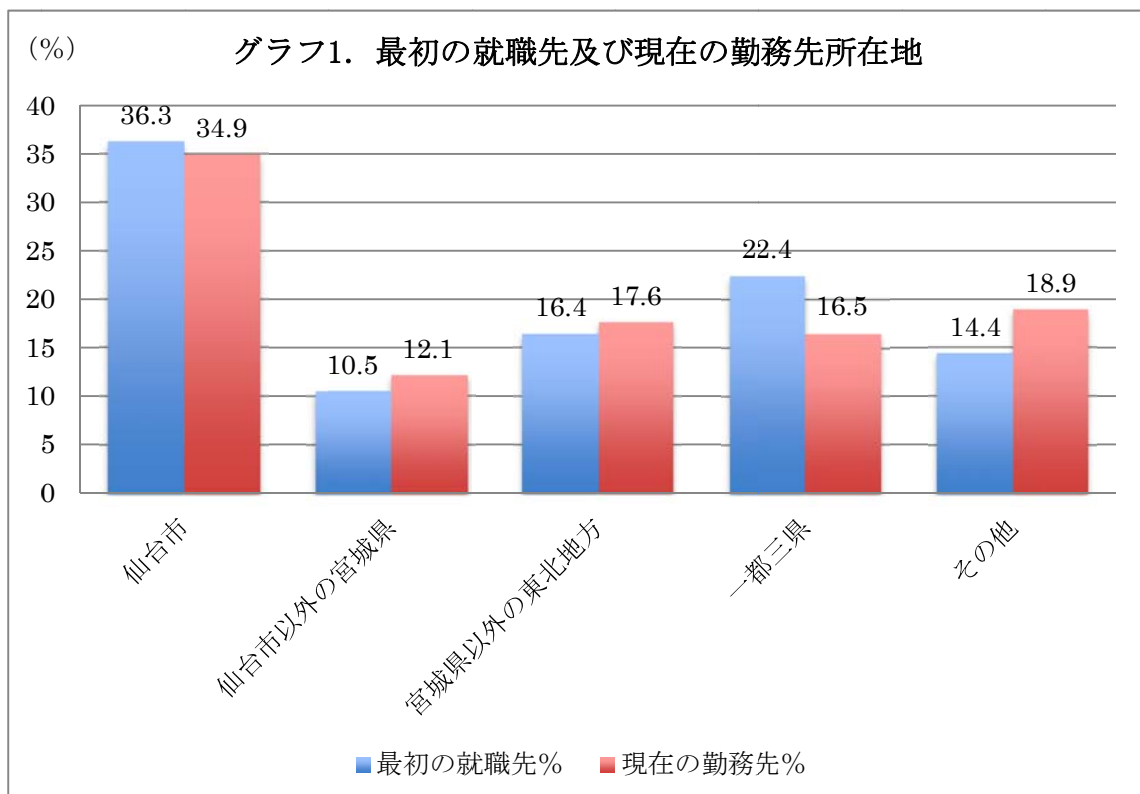
3. 調査結果の概要

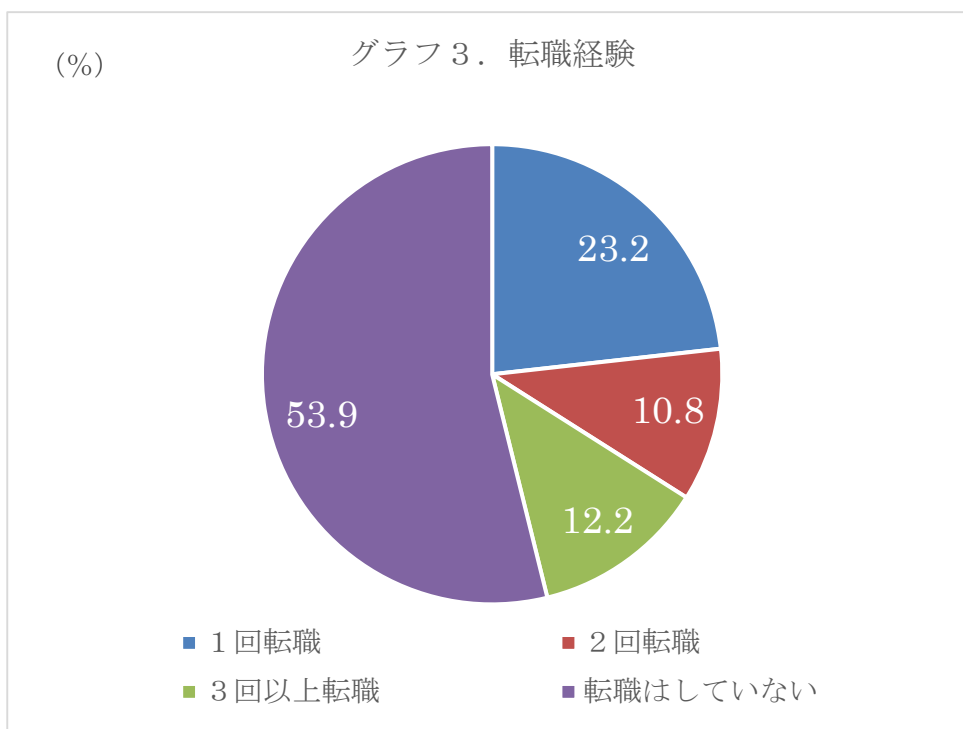
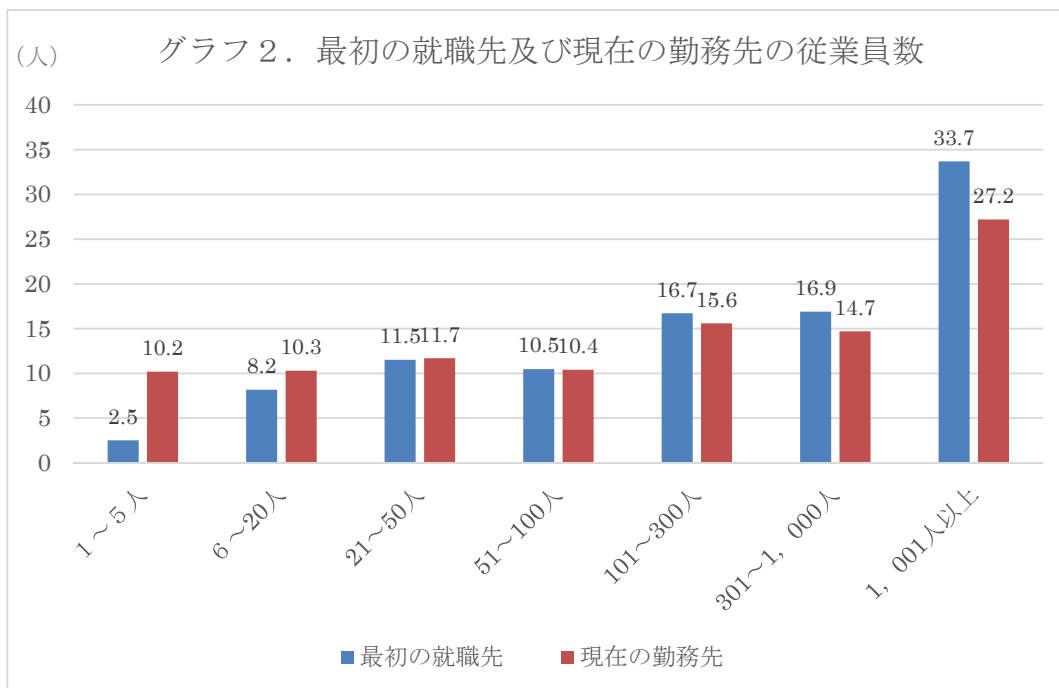
- 卒業後最初の就職先・現在の勤務先にかかる所在地、従業員規模、転職回数

(有効回答数 2,692 件)

最初の就職先が仙台市を含む宮城県内だった人は約 46.8%となっており、現在の勤務先が仙台市を含む宮城県内である人は約 47%となっている。

また、転職や起業を経て、従業員規模の多い企業から少ない企業へ移動している。なお、転職は約 46.2%が経験しており、3 回以上の転職者も 12.2%存在している。





● 就職時に重視した項目（有効回答数 2,692 件）

組織・仕事要因の上位3項目を見ると、やりがいや挑戦しがいのある仕事かどうか、雇用や経営が安定しているかどうかを重視している。一方、下位3項目を見ると、国内・海外への転勤、昇進・昇格といったキャリアアップ要因や、経営者の魅力については重視度が低い。

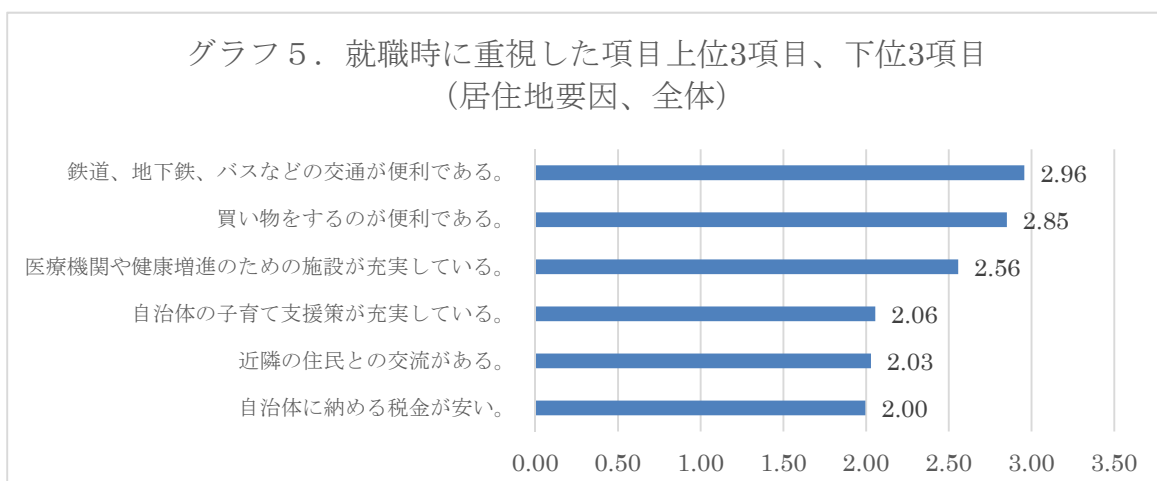
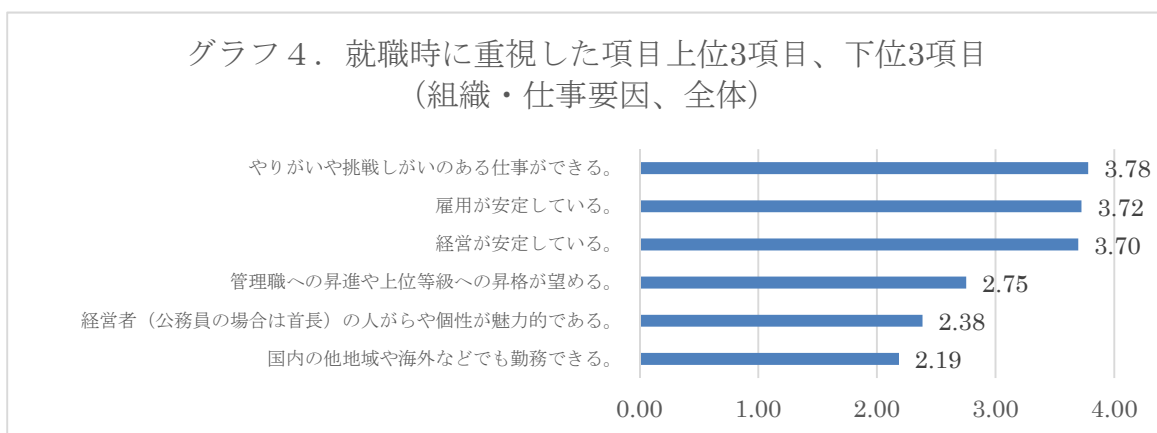
また、居住地要因の上位3項目は、交通の便利さ、買い物の便利さ、医療機関等の充実といった生活の利便性である。一方、下位3項目は、自治体の子育て支援策や税金の安さ、近隣住民との交流である。就職時には、これらの重視度は低い。

なお、20歳代が就職時に重視するのは、ワークライフバランスの充実と経営の安定性、そして、生活の利便性となっている。

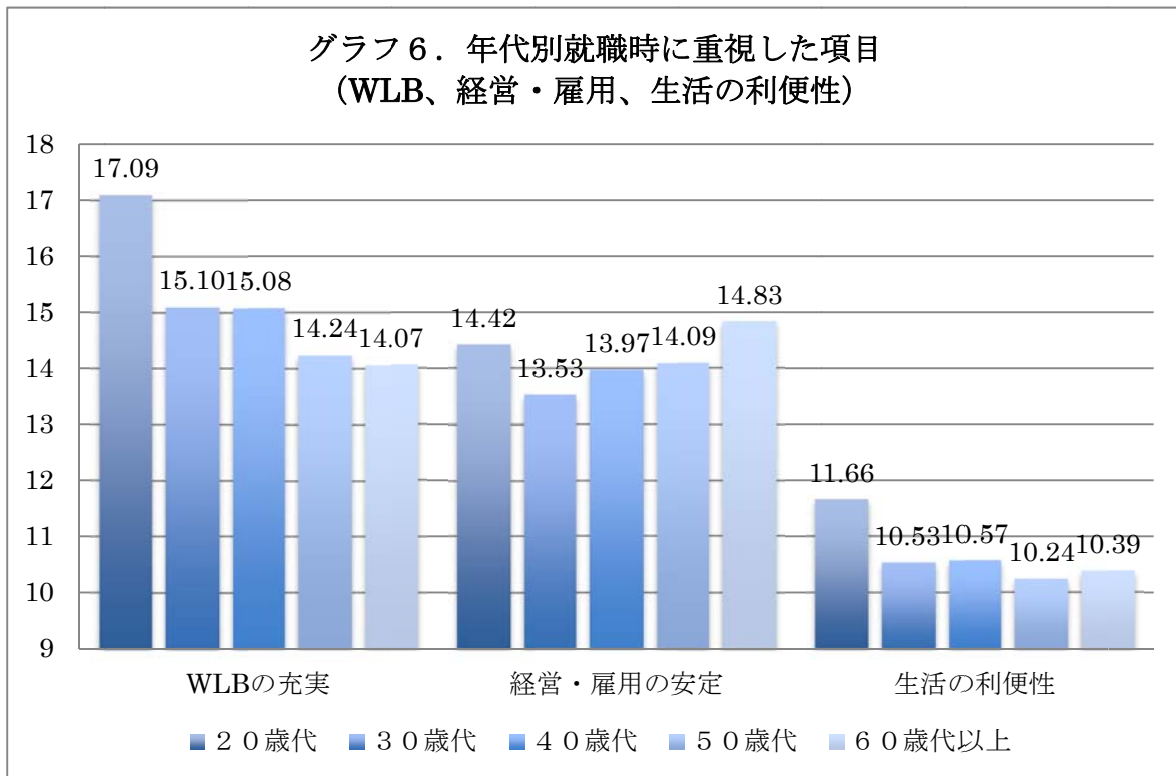
※グラフの数字について

グラフ4・5・9・12は、各項目の「まったく重視しなかった：1点、あまり重視しなかった：2点、どちらともいえない：3点、やや重視した：4点、とても重視した：5点」の回答の平均点を得点化した。

また、グラフ6・7・8・10・11は、関連する項目の回答を合計し、得点化した。



グラフ6. 年代別就職時に重視した項目
(WLB、経営・雇用、生活の利便性)



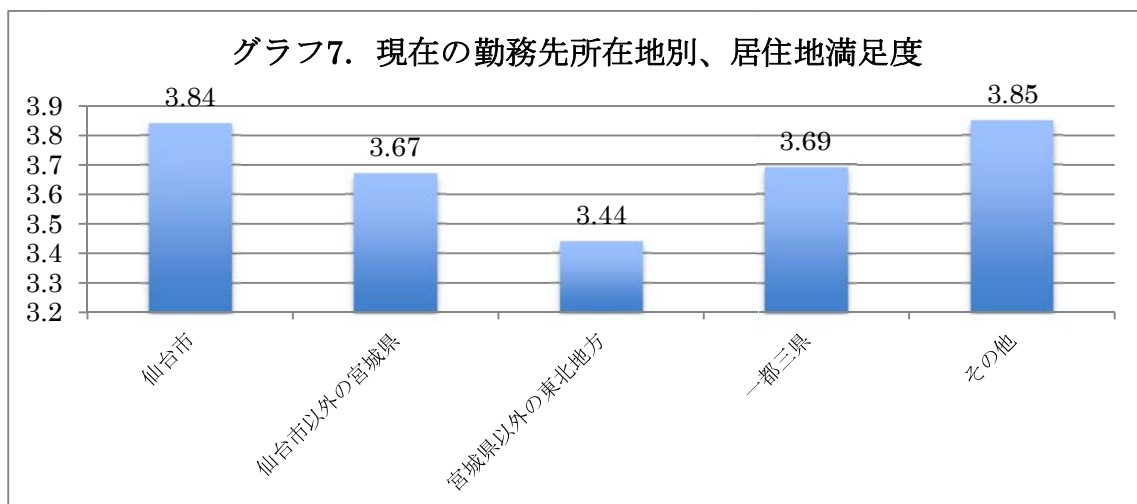
● 現在の勤務先について (有効回答数 2,592 件)

勤務先が仙台市である方の居住地満足度は高い。これはワークライフバランスや生活の利便性が高いこととの関連と考えられる。

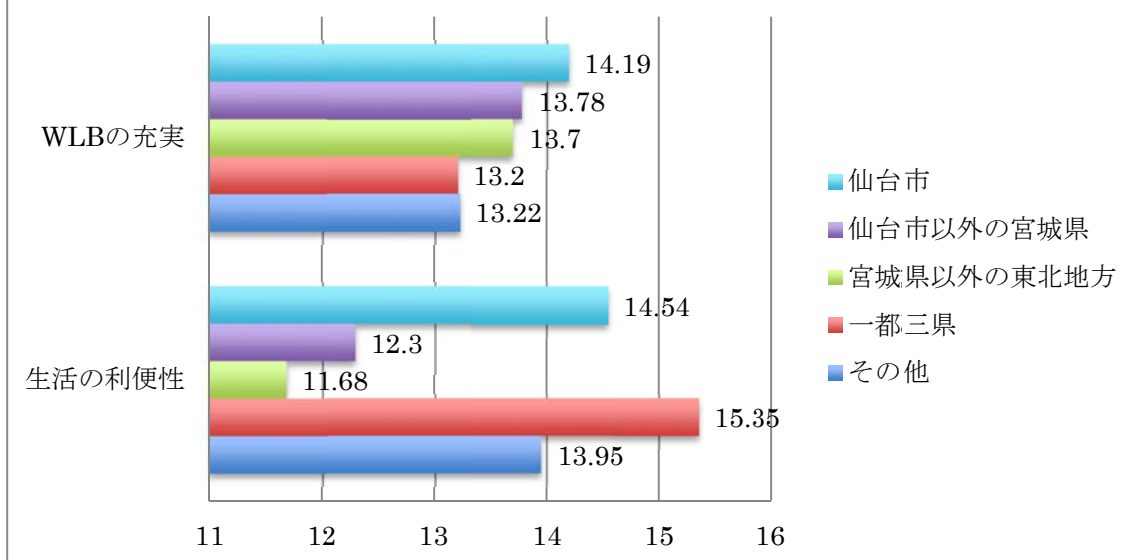
20歳代は、現在の勤務先について経営・雇用の安定やワークライフバランスは高いと感じている。また、実家での役割は低い。

勤務先満足度が最も低いのは、従業員101人以上300人以下の勤務先。また、従業員50人以下の勤務先では、経営・雇用の安定は低いものの、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力は高い。勤務先満足度が最も高いのは、従業員1,000人以上の勤務先である。

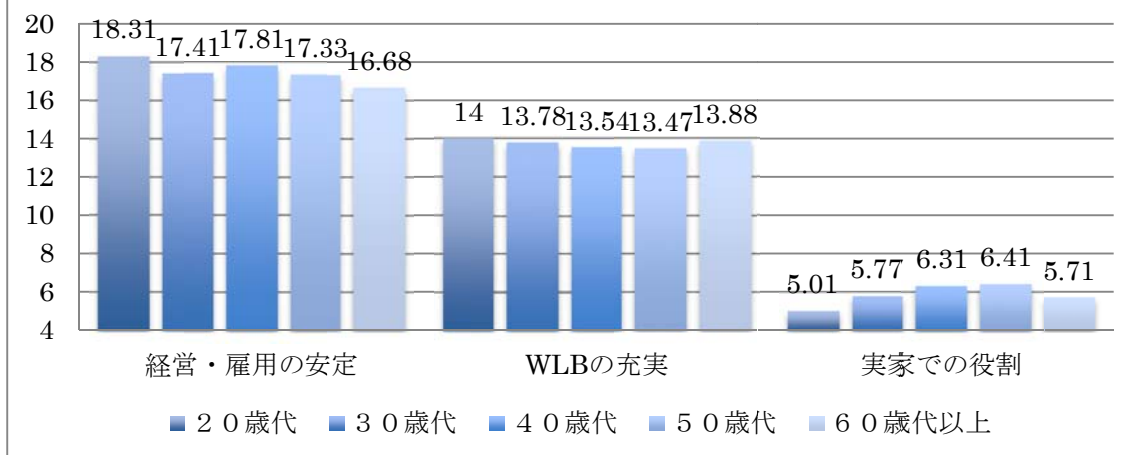
グラフ7. 現在の勤務先所在地別、居住地満足度



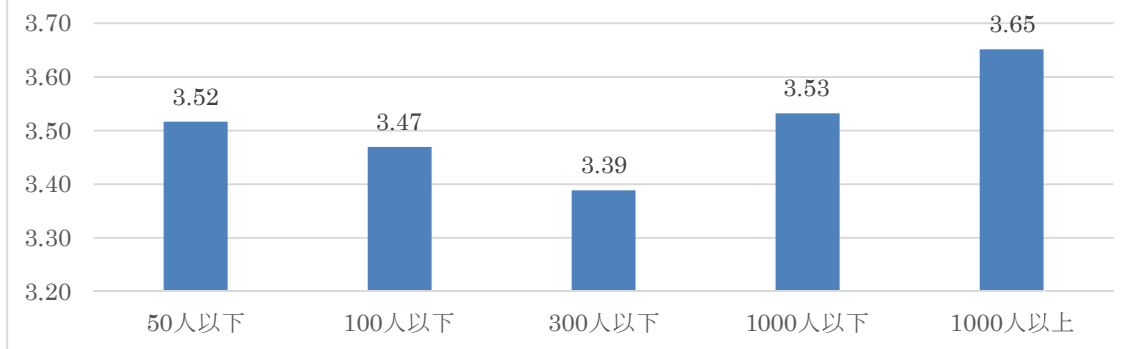
グラフ8. 現在の勤務先所在地別の状況
(WLBの充実、生活の利便性)

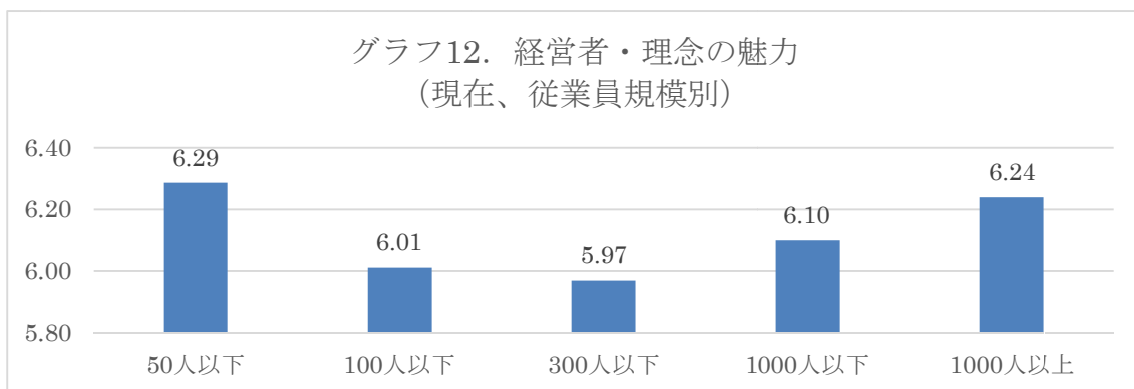
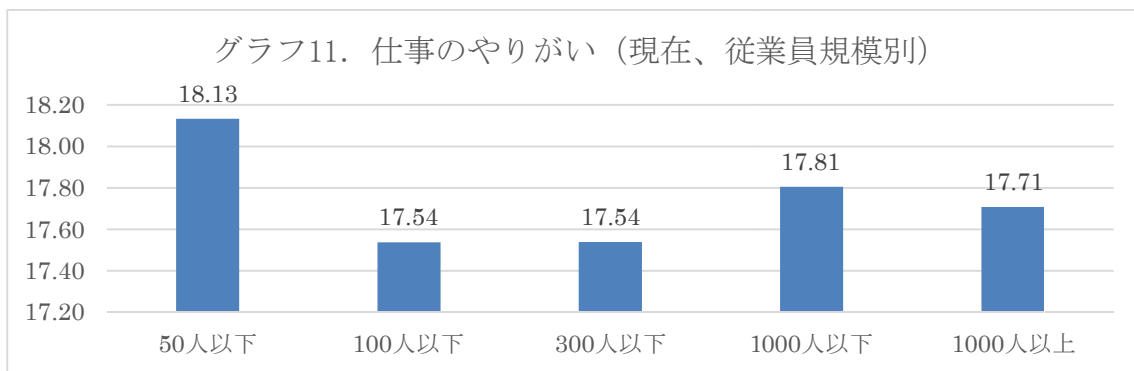


グラフ9. 年代別現在の勤務先の状況
(経営・雇用の安定、WLBの充実、実家での役割)



グラフ10. 勤務先満足度 (現在、従業員規模別)

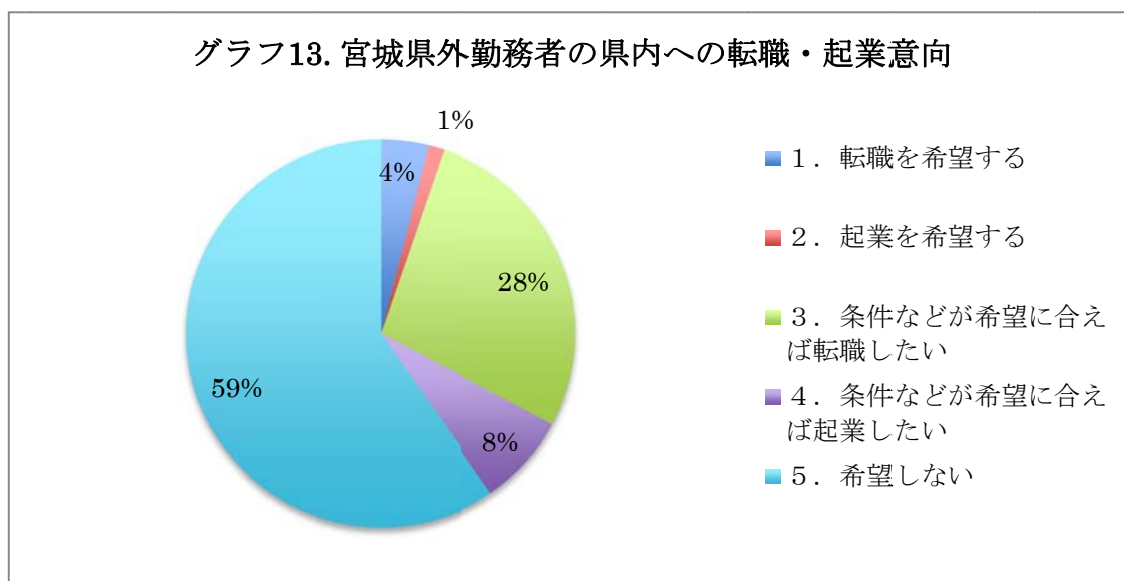


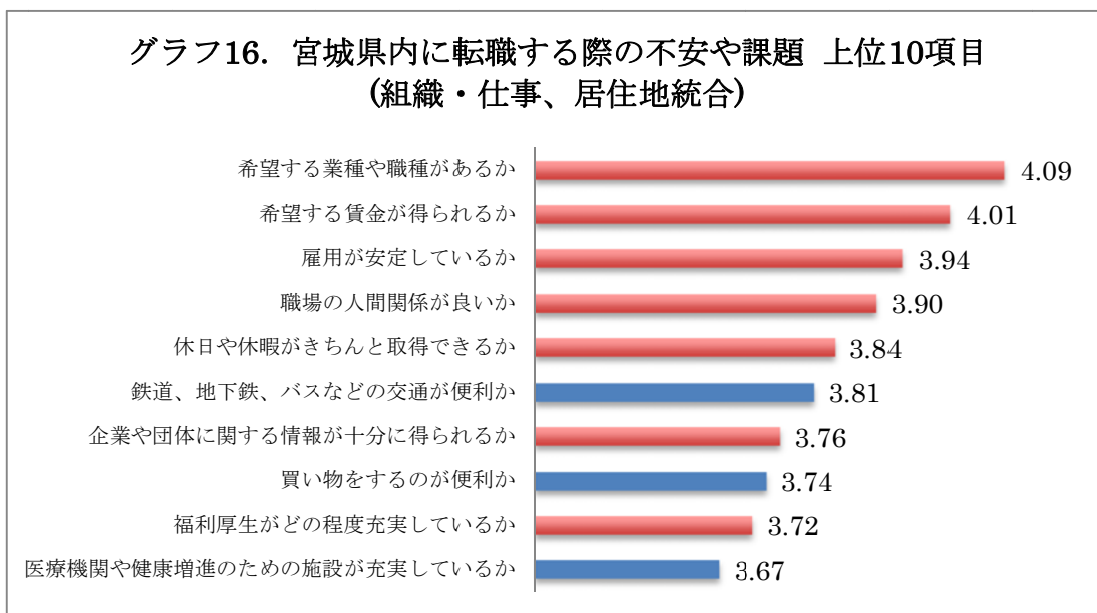
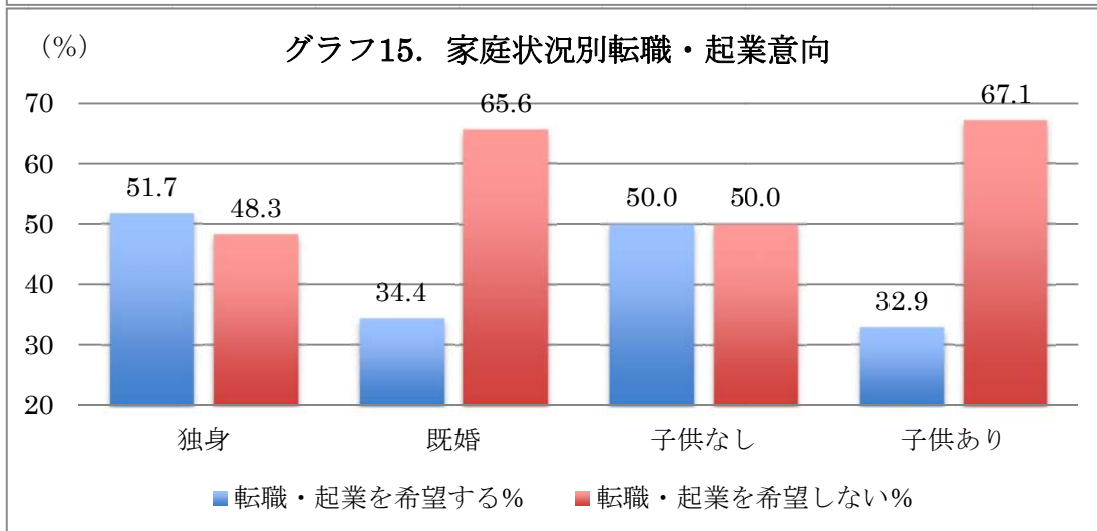
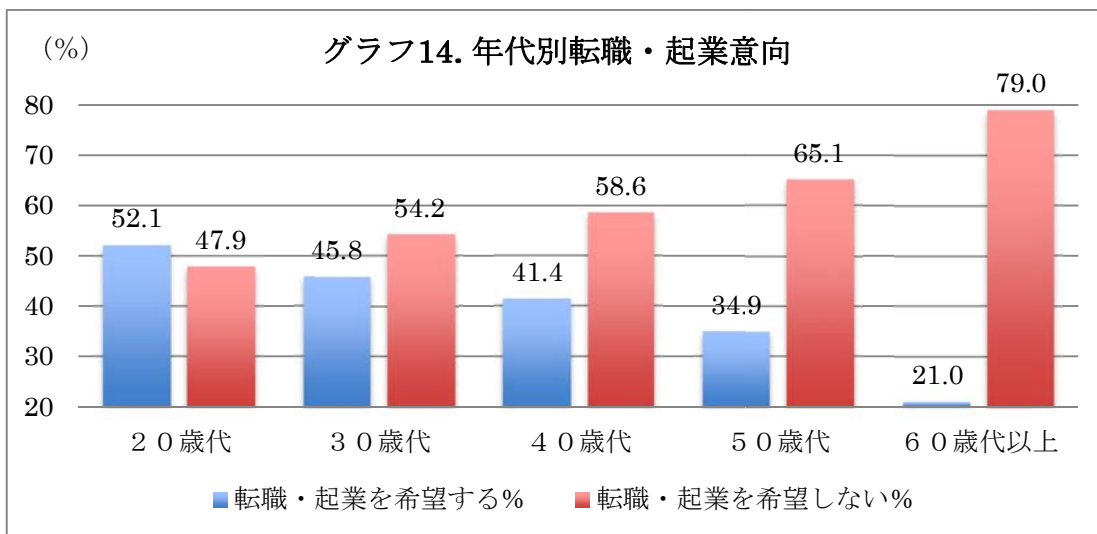


● 宮城県内への転職意向について (有効回答数 1,420 件)

宮城県内への転職・起業を希望する人は、県外勤務者全体の約 40%である。また、希望者は 20 歳代や 30 歳代、独身、子供なしという若い世代の割合が高い。さらに、2 回以上転職を経験している人の割合が高い。

転職をする場合の不安や課題として、求人や勤務先に関する要因が上位 5 項目を占める。一方、上位 6～10 位のうち 3 項目は、生活の利便性に関する要因となっている。





※赤<転職に関する要因>、青<転職に伴って住むことになる居住地に関する要因>上位10位のグラフ。

県内大学卒業者の就業の現状と意識に関する調査結果のポイント

＜就職時について＞

1. 就職時に重視した項目は、やりがいや挑戦し甲斐のある仕事かどうか、雇用や経営が安定しているかどうか。一方、下位3項目を見ると、国内・海外への転勤、昇進・昇格といったキャリアアップ要因や、経営者の魅力については重視度が低い。(グラフ4)
2. 居住地要因の上位3項目は、交通の便利さ、買い物の便利さ、医療機関等の充実といった生活の利便性である。一方、下位3項目は、自治体の子育て支援策や税金の安さ、近隣住民との交流である。就職時においては、これらの重視度は低い。(グラフ5)
3. 20歳代が就職時に重視するのは、ワークライフバランスの充実と経営の安定性、そして、生活の利便性である。(グラフ6)

＜現在の勤務先や居住地について＞

4. 勤務先が仙台市である方の居住地満足度は高い。これはワークライフバランスや生活の利便性が高いこととの関連と考えられる。(グラフ7、8)
5. 20歳代は、現在の勤務先について経営・雇用の安定やワークライフバランスは高いと感じている。また、実家での役割は低い。(グラフ9)
6. 勤務先満足度が最も低いのは、従業員101人以上300人以下の勤務先に就職した人となっている。また、従業員50人以下の企業に勤務している人は、仕事のやりがい、経営者・理念の魅力は高いと感じている。(グラフ10、11、12)

＜宮城県内への転職・起業意向について＞

7. 宮城県内への転職・起業を希望する人は、県外勤務者全体の約40%である。また、希望者は20歳代や30歳代、独身、子供なしという若い世代の割合が高い。(グラフ13、14、15)
8. 転職をする場合の不安や課題として、求人や勤務先に関する要因が上位5項目を占める。一方、6～10位のうち3項目は、生活の利便性に関する要因となっている。(グラフ16)